

レボリューションナリー・ロード／燃え尽きるまで (2008)

REVOLUTIONARY ROAD

メディア 映画

ジャンル ドラマ

製作国 アメリカ／イギリス

色彩 Color

時間 119分

初公開日 2009/01/24

公開情報 パラマウント

【キャッチコピー】

それは——誰もが逃れられない<運命の愛>

あなたの最愛のひとは
あなたを愛していますか——。

【解説】

「タイタニック」以来の再共演となるレオナルド・ディカプリオとケイト・ウィンスレットが理想と現実の狭間で苦悩する夫婦に扮したヒューマン・ドラマ。原作はリチャード・イエーツの『家族の終わりに』。1950年代のアメリカ郊外を舞台に、一見理想的な夫婦が虚しい日々から脱却を図ろうともがく姿とその顛末を生々しく描く。監督はケイト・ウィンスレットの夫でもある「アメリカン・ビューティー」のサム・メンデス。

1950年代のコネチカット州。“レボリューションナリー・ロード”と名づけられた閑静な新興住宅街に暮らすフランクとエイプリルのウィーラー夫妻は、二人のかわいい子供にも恵まれた理想のカップル。しかし、その見た目とは裏腹に、彼らはそれぞれ描いていた輝かしい未来と現状のギャップに不満を募らせていた。元陸軍兵のフランクは事務機会社に勤めるもセールスマン人生の我が身を嘆き、かつて女優志願だったエイプリルも大成せずに至っている。するとフランクが30才の誕生日を迎えた夜、エイプリルが、家族一緒にパリで暮らしましょう、と持ちかけ、パリでは自分が秘書として働くからフランクは気ままに暮らせばいい、と言い出すのだった。はじめは妻の突然の提案に戸惑うも希望を膨らませ、ついには移住を決意するフランク。それは間もなく、周囲にも知るところとなるのだが…。

【クレジット】

監督	サム・メンデス	Sam Mendes
製作	ボビー・コーエン	Bobby Cohen
	ジョン・N・ハート	John N. Hart
	サム・メンデス	Sam Mendes
	スコット・ルーディン	Scott Rudin
製作総指揮	ヘンリー・ファーネイン	Henry Fernaine
	マリオン・ローゼンバーグ	Marion Rosenberg
	デヴィッド・M・トンプソン	David M. Thompson
原作	リチャード・イエーツ	Richard Yates
脚本	ジャスティン・ヘイス	Justin Haythe

『家族の終わりに』
(ヴィレッジブックス刊)

撮影	ロジャー・ディーキンス	Roger Deakins	
プロダクション デザイン	クリスティ・ズイー	Kristi Zea	
衣装デザイン	アルバート・ウォルスキー	Albert Wolsky	
編集	タリク・アンウォー	Tariq Anwar	
音楽	トーマス・ニューマン	Thomas Newman	
音楽監修	ランドール・ポスター	Randall Poster	
出演	レオナルド・ディカプリオ	Leonardo DiCaprio	フランク・ウィーラー
	ケイト・ウィンスレット	Kate Winslet	エイプリル・ウィーラー
	キャシー・ベイツ	Kathy Bates	ヘレン・ギヴィングス夫人
	マイケル・シャノン	Michael Shannon	ジョン・ギヴィングス
	キャスリン・ハーン	Kathryn Hahn	ミリー・キャンベル
	デヴィッド・ハーバー	David Harbour	シェップ・キャンベル
	ゾーイ・カザン	Zoe Kazan	モーリーン・クラブ
	ディラン・ベイカー	Dylan Baker	ジャック・オードウェイ
	ジェイ・O・サンダース	Jay O. Sanders	バート・ポラック
	リチャード・イーストン	Richard Easton	ギヴィングス氏
	マックス・ベイカー	Max Baker	ヴィンス・ラスロップ
	マックス・カセラ	Max Casella	エド・スモール
	ライアン・シンプキンス	Ryan Simpkins	ジェニファー・ウィーラー
	タイ・シンプキンス	Ty Simpkins	マイケル・ウィーラー
	キース・レディン	Keith Reddin	テッド・バンディ